

研究課題名	肝硬変患者におけるリファキシミンの有効性・安全性に関する研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之
研究期間	(西暦) 実施許可後 ～ 2022年5月31日
研究の意義・目的	経口難吸収性抗菌薬リファキシミンは2016年肝性脳症における高アンモニア血症に対して保険認可された。リファキシミンの有効性・安全性に関する報告は複数あるが、長期間投与における有効性・安全性は未だ確立されていない。また近年肝硬変患者における感染が予後因子となることが報告されており、リファキシミン投与が炎症の改善に与える影響を検討することは有用である。 当科における診療で得られたデータをもとにリファキシミン投与患者の背景、治療効果、予後を解析することで、患者のQOL向上を図ることが本研究の目的である。
研究の方法 (対象期間含む)	研究対象期間は2017年6月1日～2022年5月31日です。研究実施許可後から2022年5月までに武蔵野赤十字病院においてリファキシミン投与を行った肝硬変患者さんを対象とします。電子カルテ閲覧で得られる患者背景、臨床経過、血液検査、画像検査などを用いて生命予後、肝関連イベントへの関連因子を解析します。
目的及び利用方法 ①試料・情報の利用 他機関へ提供される場 (匿名加工する場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供する 試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	①保険診療内の通常の診療において、取得された・あるいは取得される 予定の診療情報(既存情報)を収集・分析します。 プライバシー確保のため、患者さんが特定できないようにデータを処理した上で研究解析を行います。また、研究結果を公表する際には、患者 さん個人が特定されることはありません。 ②患者背景(年齢、性別、背景肝、併存疾患、肝癌既往・合併の有無)、臨床経過、血液学的検査結果、治療前および治療中・治療後画像検査結果(CT・MRI・超音波検査・内視鏡画像・透視画像)、投薬状況、予後・転帰 ③当院研究分担者 早川 優香、中西 裕之、研究責任者 黒崎 雅之 ④武蔵野赤十字病院 消化器科 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 消化器科 氏名 早川 優香/中西 裕之/黒崎 雅之 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525